

# カリキュラム

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター  
 実施機関名： 株式会社日本能率協会コンサルティング

A. バックオフィス	AI(人工知能)活用
新技術活用	

コースのねらい	AI(人工知能)の概要とビジネスの現場におけるAIの具体的な活用場面等について理解し、AI活用に係る知識を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	AI(人工知能)の概要	<b>AIの概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIとは</li> <li>・学習と推論</li> <li>・学習済みモデル ★</li> </ul> <b>生成AIの概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生成AI                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 生成AIの定義</li> <li>- 生成AIでできるもの(音楽・画像・音声生成などを実演)</li> <li>- 従来のAIと生成AIの違い</li> </ul> </li> <li>・マルチモーダルAIの定義と活用事例 ★</li> <li>・生成AIの最新情報                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- AIEージェント</li> <li>- Deep Search / Deep Research など</li> </ul> </li> <li>・生成AIでできること (ChatGPTの事例)</li> <li>・生成AIの活用事例</li> </ul> <b>AI導入で実現することと業務</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対するAI導入で実現すること</li> <li>・AI導入時に意識しておくこと</li> <li>・AIとヒトの協業 ★</li> </ul>
2	AIの活用事例と今後の展望	<b>AIの具体的な活用事例 ★</b> AIの活用シーンを技術別(画像認識、動画解析など)で紹介 技術が使用されているところだけでなくビジネスモデルも学習	3.0
		<b>最近の学習済みモデルの動向</b> 経営資源と学習済みモデルの関係を学び、最近の動向とモデル利用のアプローチを学習	
		<b>生成AIの活用方法とAPI連携 ★</b> AIや生成AIを単体で使用するだけでなく、他の様々な情報と連携させて活用する注目されている技術を学習	
		<b>AIの今後の展望</b> AI、及び生成AIにおける市場規模の予測やサービスによる成長分野分析などを紹介	
		<b>具体的に自社工程で活用するための準備</b> AIを自社の工程で活用するための事前準備と具体的なステップを述べ、その中で注力すべき点を学習	
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
講義タイトルこそ『AI(人工知能)活用』ですが、AIとは別技術である「生成AI」の内容を盛り込んでいます。希望等でいただいていた「メリットやデメリット、実際の導入事例や活用場面」を数多く紹介し、その中で業務改善に関する内容も触れてゆきます。また、最近大きく利用形態が変わってきている「学習済みモデル」、「API連携」の内容も盛り込んでおります。 手と頭を使う演習(「主な内容」中の ★マーク部)を多く盛り込み、受講生の方が研修を通して積極的に参加でき、知識の習得を図れるようなカリキュラムになっております。